

KISSA TAKADA THE SHOES

SHOES DESIGNER

高田喜佐

ザ・シューズ展

高田喜佐(1941-2006)が41年間に世に送り出した靴は、彼女の生き方そのものとも言えます。夢のようなファンタジックなパンプス、雑誌で話題になったカラフルなポックリ、バイクに乗るために作ったライダーブーツ、海で過ごすためのビーチサンダル、そして幼いころ磨いていた父の靴の記憶をとどめたマニッシュシューズ。次々と繰り広げられた彼女のクリエイションの軌跡と多彩なライフスタイルを、寄贈いただいた膨大な数の靴、デザイン画、写真や映像などで紹介する試みです。

高田 喜佐

1941年、東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。66年、初の個展「靴のファンタジー」を銀座の画廊で開催し、オリジナルブランド「KISSA」で、シューズ・デザイナーとして出発。70年代にポックリとファッション・ズック、マニッシュなカジュアルシューズを発表し、77年、株式会社キサを設立、その後青山に「ブティックKISSA」をオープンする。日本の女性靴にデザインの概念を持ち込んだと評価され、以後靴デザイナーの草分け的存在となる。機能美と遊び心が融合した大人のためのカジュアルシューズは多くのファンに支持され続けている。エッセイストとしても活躍し、「大地にKISSを」(文化出版局)、『靴を探しに』(筑摩書房/日本文芸大賞伝優秀賞受賞)、『裸足の旅は終らない』(学習研究社)、『暮らしに生かす江戸の粋』(集英社be文庫)など著書も多い。06年2月、肝内胆管癌にて死去。享年64歳。母は詩人の高田敏子氏。

- 1997年 スタジオに新作の靴を並べて 撮影：高木由利子
- 1994年春夏 海辺のバレリーナになれるズック 3.1970年春夏 星や月を描いたポックリ
- 1974年 カウンター部に花を咲かせたサンダル
- 1985年春夏 ナイロン地とコンビネーションの夏用ライダーブーツ
- 1972年秋冬 フリルのようなタッセルが付いたモンクストラップ
- 1987年秋冬 ケンの花が付いた総ゴム製ズック
- 2002年秋冬 乙女が夢を見るゴム底のブーツ 9.1990年 リザードのタッセル・モカシン



1



《イヴニング・ドレス》1980年春 《ドレス》1990年春 《ドレス》1980年代 《イヴニング・ドレス》1992年秋

Scaasi アーノルド・スカージ展

アメリカのオートクチュール・デザイナー

アーノルド・スカージ(1930-)は、歴代のファースト・レディや多くのハリウッド女優、1000人にも及ぶニューヨークセレブなどを顧客に持つアメリカを代表するオートクチュール・デザイナーです。この度、名古屋ポストン美術館とポストン美術館のご尽力により、ボストン在住のシャープ夫妻より21点の貴重な作品が寄贈されました。本展ではそれを記念し、スカージが描き出す、ヨーロッパ・モードと異なるダイナミックなアメリカ・オートクチュールの世界を堪能いただく貴重な機会を提供します。

アーノルド・スカージ Arnold Scaasi (1930-)
カナダに生まれる。パリ・クチュール組合の学校を卒業後、52年から2年間ニューヨークのチャールズ・ジェームズのもとでアシスタントとして働く。56年、自分のブランドを設立し、64年、オートクチュール・サロンを開く。60年代から70年代にかけて、パープラー・ストライプの衣装を公私にわたって担当。華やかな色彩と模様か特徴で、歴代大統領夫人のドレスを手掛けるなど、比類なきアメリカのクチュリエ。

関連イベント

- 【トークショー】 **申込不要/参加無料**
■「ひととききさ —高田喜佐と創作の環境—」
日程：4月20日(土)
ゲスト：小池 一子 (クリエイティブ・ディレクター)
高木 由利子 (写真家)
 - 「KISSAの靴と私のページ」
日程：5月3日(金・祝)
ゲスト：原 由美子 (スタイリスト)
高田 邦雄 (株式会社キサ 代表)
 - 【講演会】 **申込不要/参加無料**
■「アーノルド・スカージ —その作品の魅力と成功への道に迫る—」
日程：5月12日(日)
講師：濱田 雅子 (元武庫川女子大学教授)
- ※時間：いずれも 14:00 ~ 15:30 (開場 13:30)
会場：神戸ファッション美術館 4F 第1セミナー室
定員：各回先着 100名

【ワークショップ】 **要申込/要参加費**
「KISSAのような ゴムのミニズック靴を作ろう」
日時：6月2日(日) 13:00 ~ 16:00 会場：4F ギャラリー
講師：渡辺 祐子、小林 ゆかり (Vivendi) 定員：30名(中学生以上)
参加費：2,000円 申込方法：往復はがき、FAX、e-mailに、住所、氏名、電話番号、希望のタイプ(A・B・C)を明記の上、5月20日(消印有効)までにお申込みください。
※応募者多数の場合は抽選し、結果をお知らせいたします。
申込先：往復はがき 下記美術館住所
FAX: 078-858-0058
e-mail: workshop@fashionmuseum.or.jp
※できあがりサイズ約 10.5cm 片方のみの制作になります

【ギャラリートーク】 **申込不要/要入館料**
日時：4月27日(土)、5月18日(土)、6月15日(土)、いずれも 14:00 ~

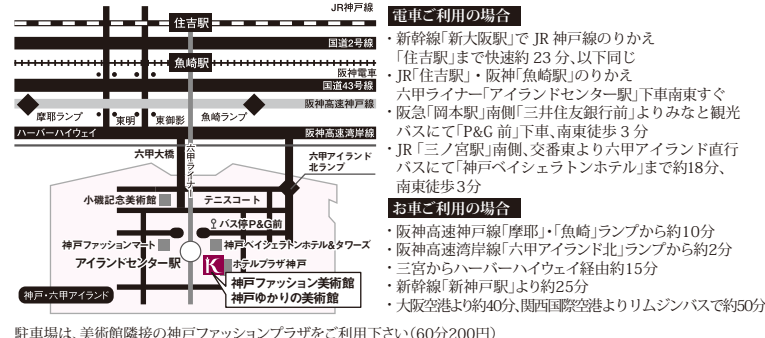


■ 3Fライブラリー、ミュージアムショップのご案内
3Fライブラリーでは、国内外のファッション関連の蔵書約32,000冊のほか、20世紀初頭からのファッション雑誌のバックナンバー、仏・英・伊のヴォーグやエル、最新ファッションがわかるスタイル・マガジン、インテリア雑誌などが閲覧できます。



museum in museum = 「ミュージアムの中のもう一つのミュージアム」 OPEN 10:00-17:30
mimは「もの」「こと」をキーワードに人の心にのこるものを「かたち」にする作り手とお客様とをつなぐミュージアムセレクトショップです。
※museum in museum 出品者公募16thは4/20(土)~5/20(月)を予定しています。詳細はHPにて発表。

■ 近隣施設 ※相互に入館料割引があります。くわしくは各館へお問合せください。
神戸ゆかりの美術館 (TEL.078-858-1520・毎週水曜休) ※神戸ファッション美術館に入館された方は無料
企画展示「彫刻のまち神戸 新収蔵・藤本敬八朗の“雲水”と神戸ゆかりの彫刻家たち」
同時開催「風景画コレクション ~水辺に憩う~」2013年4/6(土) ~ 6/9(日)
小磯記念美術館 (TEL.078-857-5880・毎週月曜休 祝日の場合は翌日休) ※入館券の半券提示により団体割引料金を適用
「小磯良平作品選 I」「新聞連載小説挿絵原画展「人間の壁」(十一)【石川達三著】」
「コレクション企画展示 画家たちの1950年代」2013年4/4(木) ~ 4/29(月・祝)



駐車場は、美術館隣接の神戸ファッションプラザをご利用下さい(60分200円)
神戸ファッション美術館 KOBÉ FASHION MUSEUM 〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2丁目9番地1
Tel:078-858-0050 http://www.fashionmuseum.or.jp